

土木工学・建築学委員会企画分科会
環境工学連合小委員会（第25期・第7回）
議事要旨

日 時：令和5年5月30日（火）12:35～13:20

会 場：日本学術会議 5－C（1）会議室/Zoom会議（ハイブリッド開催）

出席者：浅見，前川，森口，秋元，奥田，石森，一ノ瀬，梅村，佐野，醍醐，
党，廣吉，村上（以上会議室参加），八重樫，金澤，長岡，松野，村
山（以上オンライン参加）

オブザーバー：中井（化学工学会後任），松崎（資源・素材学会，環境資源工
学会事務局），木村（化学工学会事務局）（以上会議室参加），藤井
（土木学会後任），小林（日本土壤肥料学会後任），松山（日本機械
学会後任），河瀬（日本化学会事務局）

配布資料

資料1 環境工学連合小委員会（第25期・第6回）議事要旨

資料2 第25期 環境工学連合小委員会 委員名簿 （2023年5月30日現在）

資料3 第35回環境工学連合講演会プログラム案

資料4 第36回環境工学連合講演会の企画草案

資料5 小委員会活動の今後の予定と検討課題

議 題

議事に先立ち，定足数を満たしていることが確認された。

（1）前回議事要旨の確認

・資料1に基づき，森口委員長から報告が行われた。

（2）委員の交代について

・金澤委員，八重樫委員，村山委員の辞任が承認され，オブザーバーとして参
加した各々の後任予定者が紹介された。

(3) 第35回環境工学連合講演会の開催について

- ・日本建築学会より以下の報告が行われた。
- 事前申し込み：474名（オンライン415名・現地59名）
- 午前中のオンライン聴講者はどの発表の時点でも概ね200名程度

(4) 第36回以降の環境工学連合講演会の運営体制及びテーマについて

- ・資料4に基づき、村山委員より前回小委員会で提案された第36回環境工学連合講演会の企画草案が説明された。
- ・講演会テーマ案は「持続可能で強靱な社会への変革に向けて」とした。

(5) 小委員会の今後の活動および検討課題について

- ・資料5に基づき森口小委員長から報告された。
- ・学術会議自身の制度改革が検討中であるが、改革法案の国会提出はされず、25期の期末は所定の2023年9月末である。委員の交代は、引き続きできる限り期の移行のタイミングとあわせていただけると有難い。但し、学協会側での担当理事、担当委員などの任期の都合上、それ以外の時期の交代は従前どおり可能である。
- ・ポストコロナ時代の講演会開催の在り方（ハイブリッド形式の継続、要旨集の形態（印刷版／電子版）や共有・公開等）について意見交換がなされた。
- ・開催経費の管理方法について現状の報告と意見交換がなされた。

(6) その他

- ・次期の環境工学連合の開催は2024年5月後半を予定、次回の小委員会開催は現委員会の期末の2023年9月末日より前を予定。

以上